

パナマ内政・外交（2019年9月定期報告）

【ポイント】

○24日から25日まで、コルティソ大統領は、第74回国連総会に出席のためNYを訪問し、一般討論演説を行った他にトリニダード・トバゴ首相、グテーレス国連事務総長、シンガポール首相及びノルウェー首相とそれぞれ会談した。○26日、パナマ政府は、アフリカ大陸との繋がりの強化及び両地域間の友好・協力関係の緊密化のため、ケニア共和国と外交関係を樹立した。

【本文】

●内政

1 最高裁判所判事の人事プロセス

（1）2日、当国政府は、現行の最高裁判事3名の任期終了に伴う後任ポストへの立候補期間を開始した。立候補者は、三権の代表者、検察、国立大学法学部学部長及び市民社会代表者等を含む特別評価委員会による書類審査及び面接のプロセスを経て数名に絞られる。

（2）その後、閣議において各ポスト一名の候補者が選出され、国会での第一読会から第三読会での審議を経て承認される。今般後任を選出する最高裁判事は第二法廷メヒア判事、第二法廷ディアス判事及び第三法廷サモラノ判事となる。

（3）なお、当国における最高裁判事の定員は9名で、任期は10年で再選可能。政権毎に3名が交代する制度となっていたが、バレーラ前政権で国会にて大統領が指名した人物が否決され、人事プロセスが滞ったまま政権移行に至ったため、コルティソ政権は最高裁判事6名の人事権を持つこととなった。

2 野党パナメニスタ党の党内選挙に向けた動向

（1）16日、野党パナメニスタ党は、11月24日に実施予定の同党執行委員会委員選出の選挙に向け、立候補期間を開始した。同選挙へは、5月の大統領選挙における同党大統領候補であったブランドン前パナマ市長に加え、エチエレク元住宅大臣が既に立候補を表明している。

（2）執行委員会委員の任期は2021年まで。5月の総選挙において、大統領選挙では4位、国会議員選挙では大幅に議席数を減少させ大敗した同党の党内改革が急務とされている。

●外交

1 ジャマティ・グアテマラ次期大統領のパナマ訪問

(1) 1日、コルティソ大統領は、パナマを訪問したジャマティ・グアテマラ次期大統領と会談し、貿易、港湾、物流、観光、生産、治安、貧困及び移民分野における二国間協力について協議した。

(2) コルティソ大統領は、移民、治安及び貧困分野について協議し、例えば零細農家の農作物の品質を保証することで、貧困地域における生産性の向上を目指すプログラムについて取り上げた旨述べた。

(3) 貿易分野について、コルティソ大統領は、9月23日から25日までグアテマラにて開催される手工芸品見本市に、パナマから文化大臣、社会開発大臣及び観光庁長官が出席する旨述べた。

(4) また、コルティソ大統領は、来年1月14日のジャマティ次期大統領の大統領就任式に出席する旨述べた。

2 OASにおける米州相互援助条約の諮問委員会設置に係る投票への棄権

(1) 11日、ワシントンで開催されたOAS常任理事会において、パナマは米州相互援助条約(TIAR)の諮問委員会の招集に係る投票につき、ベネズエラへの武力行使の可能性を含むことから棄権した。

(2) 当国外務省プレスリリースによると、パナマ政府は、ベネズエラの正当な代表であるグアイド暫定大統領と共に、民主主義の回復に向けた同国国会の役割を承認しており、ベネズエラ及び同国国民が直面する経済、社会、政治及び人道的危機に対し、民主的且つ平和的な即時解決に向け、域内及び多国間での努力を支援し続ける。

(4) また外務省プレスリリースでは、今般の投票での棄権について、パナマは、その伝統及び歴史的背景から、軍事介入が内政危機の解決に向けた最適の方法ではないと考えた結果棄権することとした旨説明された。

3 コルティソ大統領の第74回国連総会出席

(1) 24日から25日まで、コルティソ大統領及び同夫人は、第74回国連総会に出席のためNYを訪問した。なお、今回のNY訪問にはフェレル外務大臣、コンセプション環境大臣及びモイネス外務次官が同行した。

(2) コルティソ大統領はNY滞在中、一般討論演説を行った他に、ロウリー・トリニダード・トバゴ首相、グテーレス国連事務総長、シェンロン・シンガポール首相、ソルベルグ・ノルウェー首相とそれぞれ会談した。

(3) コルティソ大統領一般討論演説

ア コルティソ大統領は、一般討論演説冒頭において、ラ米地域及び世界は、現在複数の課題に直面しており、世界各国が力を合わせてこそ前進できる、共に協力してより公正で安全且つ人間の尊厳をもった世界にしていかなければな

らない旨述べた。

イ また貧困撲滅・格差是正，教育改革，気候変動及び持続可能な開発分野でパナマが直面する課題及び取組を共有すると共に，世界及び地域での問題に対し，伝統的に対話の仲介者としての役割を担ってきたパナマとしての経験を強調した。

ウ 今般の一般討論演説において，コルティソ大統領はベネズエラ危機への直接的な言及は避け，多面的解決を必要とする世界的問題に対しパナマは協力していく旨述べるに留まった。

4 ケニアとの外交関係樹立

(1) 26日，アフリカ大陸との繋がりの強化及び両地域間の友好・協力関係の緊密化のため，パナマはケニア共和国と外交関係を樹立した。

(2) 第74回国連総会出席のためNYを訪問したフェレル外務大臣は，ジュマ・ケニア外務・国際貿易長官と会談し，その後公式共同声明を通して，両国が1961年の外交関係ウィーン条約及び，国連憲章の中で確立される国際法の原則に基づき外交関係を樹立した旨発表した。

(3) ケニアは，その地理的位置からパナマと同様，域内の貿易，物流及び金融のハブとして地域に貢献しており，今般の同国との外交関係の樹立は，アフリカ大陸におけるパナマのプレゼンスを強化すると共に，同地域との政治，経済，社会及び文化面での二国間及び多国間協力を強化したいパナマ政府による外交政策方針と合致する。

5 フェレル外務大臣と王毅中国外交部長の会談

(1) フェレル外務大臣は，NYで開催されている第74回国連総会の枠組みにおいて，王毅中国外交部長と会談した。

(2) パナマと中国の外交関係の更なる深化のため，両国外相は両国が関心を有するテーマについて協議した。両国外相は，特に農業分野における協力，パナマ産品の対中国輸出の可能性，中国からパナマへの投資誘致，人材育成のための講座及び奨学金，パナマの観光客誘致促進等の分野について話し合った。

(3) 王外交部長はフェレル外務大臣に，近いうちに中国を訪問するよう招請した。同様に，王外交部長は，パナマと中国の二国間関係が友情，利益，相互尊重，対話，協力及び経済発展に基づいており，二国間関係を最高レベルにまで引き上げることへの政治的関心が存在する旨述べた。

(了)